

5 常務理事賞

高卒採用作戦です! ~ DKくんとJKちゃん ~

(男子高校生) (女子高校生)

東京都世田谷区
管理本部 採用管理課
責任者 鳴海 遥香

私が
ご報告
します!

20%しかいない高卒からの就職希望者を狙って人材確保に挑む!!

昨今、高校卒業後に就職を希望する高校生の数が減っている一方で、高校生の求人募集をする企業が増えています。過去10年間 求人倍率が上昇している『高校生ニーズの拡大』という現状の中、大卒以外の新卒人材確保の強化に挑み、今年度成果を出すことができました。

厳格な厚生労働省やハローワークのルールに基づきながら、課題をポジティブに解決!

高卒採用には、高校生を守ることを目的とした厳格な制限やルールがたくさん存在します。そのルールによって浮上する課題を1つ1つ解決しながら人材確保に繋げていきました。

2022年高卒採用作戦

- ハローワーク求人票内容の見直し
- 求人サイトの写真を他社と差別化
- 求人サイトの求人は常に上位表示操作しPV数増
- 透明封筒を利用した両面PR郵送物で開封率UP
- 流行に乗った広報活動として介護マンガ制作
- 記憶に残り続ける法人であるためにメッセージカード・ポエムカード制作
- FAX送信回数増(メールや電話営業より効果的)
- 就職フェアで高齢者疑似体験コーナー設置
- 自己紹介カードで面接前選考(素を知る)

施設見学・説明会参加に繋がった
高校生も過去最高の実績でした



高卒者のハローワーク求人倍率の推移



高卒採用実績



初めての接点を持つ高校が増えOBが増えたことで、今後は広報活動の幅が広がり、更なる人材確保が期待できます。また、親御さんが『安心して送り出せる法人である』と思っていただけるよう、早期のキャリア体制を整えることも今後の挑戦です。
4年後に入職する同い歳の大学卒人材よりも活躍できるような高卒人材を育成できるよう、新たな戦略を計画し、努力して参ります。

フュー 2022 April Vol.13 2022 4月18日発行

社会福祉法人 奉優会(ほうゆうかい) 法人事務局 154-0012 東京都世田谷区駒沢1丁目4番15号 真井ビル5階
TEL: 03-5712-3770 FAX: 03-5712-3771 https://www.foryou.or.jp/



SDGsの実践を 社会福祉法人 奉優会 理事長 香取 眞恵子

なかなか収まらないコロナウイルス感染拡大の現状が続いております。このようなパンデミック禍でも社会を動かしていくために、本質的で喫緊の課題としてSDGsへの注目が高まっています。
SDGsの思想を実践する最先端の分野が福祉であり、私たちにはその旗を真っ先に振らなければならない責任が有ります。
SDGsの思想の基本にあるのは私たちが今のような生産と消費を続けていけば、地球環境は、人間にとっても、他の生物にとっても持続可能なものではなくするという危機感です。

「地球を破壊から守ること」「誰一人取り残さないこと」その背景には気候変動の影響が大きくなっていることや格差・不平等の拡大が世界全体を不安定にしていることなどが挙げられます。こうしたことが続けば社会も地球も壊れていくので、今、変革が必要であり、その目指すべきゴールがSDGsです。また、2015年には2030年までに達成する目標が国連で採択されました。国連の全加盟国の「このような世界を目指したい」という思いが17のゴールと169のターゲットに込められています。国連で採択された当時はまだ関心が低かった企業も、今やどのようにSDGsに取り組むかを真剣に考えています。

また、SDGsのベースは人権を守ること、そして、全体がいかに良くなるかを示すものさしです。途上国で起こっている問題にも先進国の振る舞いが影響しています。先進国が変革しなければ状況は改善しません。

経済成長こそが豊かさにつながるというこれまでの考えではなく、包摂など私たちにとって大事なものは、何か新しい社会的な行為が必要になっています。そのためにも10代~30代の若い世代が中心となって、女性や多様な方々に発言していただき「どのような社会」「どのような地球」にしていきたいのかを考えてみんなの意見を集約すべきだと考えます。また、長期的な視点で目指したい社会像を明らかにしてそれを共有し、そこに向かっていくべきだと思います。

デジタル化はより加速しますが、これからの私たちは、新たな分野で活躍できるキャリアを持てるような人材育成に投資するべきです。そして、その方達が自ら自己肯定感を持ってエンパワメントしたくなる仕組みや環境を作っていくなければなりません。



問合せ先 社会福祉法人 奉優会ホームページ
https://www.foryou.or.jp/



4/1より、新たに開設された施設と 運営開始をした事業をご紹介します!

特別養護老人ホーム 花の木ハイム荒川運営開始



施設名称	特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川
所在地	東京都荒川区荒川5丁目47番2号
事業内容	①特別養護老人ホーム50床 ②短期入所生活介護6床 ③在宅高齢者通所サービスセンター40名定員 ④荒川地域包括支援センター ⑤荒川高齢者みまもりステーション

喜多見居宅介護 支援事業所 運営開始



施設名称	喜多見居宅介護支援事業所
所在地	東京都世田谷区喜多見3丁目10番15号 (優つくり村喜多見併設)
事業内容	指定居宅介護支援事業所 定員132名

立花ゆうゆう館 運営開始



施設名称	立花ゆうゆう館
所在地	東京都墨田区立花6丁目8番1-102号
事業内容	介護予防事業 趣味教養事業 社会参加活動支援 他

北区名主の滝 老人いこいの家 運営開始



施設名称	北区名主の滝老人いこいの家
所在地	東京都北区岸町1丁目15番25号
事業内容	介護予防事業 趣味教養事業 社会参加活動支援 他

北区滝野川 老人いこいの家 運営開始



施設名称	北区滝野川老人いこいの家
所在地	東京都北区滝野川1丁目46番7号
事業内容	介護予防事業 趣味教養事業 社会参加活動支援 他

第14回事例研究発表会受賞事例の紹介



最優秀賞

ACP Never give up ~命の意味~

多職種連携で入院回避

沓掛ホームでは、水分摂取量と入院率の関わりに着目し、どんなご状態の方をも、決して脱水にしない仕組みを作り上げました。今年度は難病や、癌、昏睡状態からの復活などアドバンスケアプランニング(終末期の意思決定支援)に、注力することで、年齢や病歴に関わらず、価値、人生、目標を共有し合うプロセスを実践しました。劇的な改善事例を交えながら沓掛ホームのACPのご紹介をさせていただきます。

事例1: 難病克服した事例

●免疫系を壊す難病「類天疱瘡」発症
●全身を発赤疹とかゆみが襲う
●入院すると大量のステロイド投与による治療が行われ、副作用に耐えられないリスク有

意向 家族:入院すると会えない可能性有。沓掛で見てほしい。本人:家族と会いたい。

対応 ご家族と面会実施。一緒にアイスクリームを食べたいという要望に応える。

結果 類天疱瘡きれいに緩解。ご自身でお食事を召し上がりお元気に毎日を過ごされている。

事例2: 皮下点滴による症状改善

●乳頭腫瘍発症
●看取り取り交わし
●腫瘍転移によるものが頭部大きな腫瘍出現
●低カリウム血症による心不全のリスク有

意向 家族:手術はリスクが高いので、沓掛で穏やかな時間を過ごして欲しい。

対応 通常の皮下点滴に加え、初めて点滴内に低カリウム血症等の薬剤投与を実施。

結果 抗がん剤未使用も、頭部の腫瘍減少。食事水分も取れるまで回復。

事例3: 貧血改善した事例

●入院中に貧血発見。鉄欠乏性貧血と思込まれ鉄剤が投与され続けていた
●入所後定期診療の採血精査により大球性貧血と診断され輸血が不可欠と判明

意向 家族:積極的な治療で痛がる母をこれ以上見たくない母もそのような治療を望んでいない。

対応 ご本人の要望に応え、起きたい時に起きる。食べたかったラーメンを食べるなど対応。

結果 徐々に血液データ改善し、1年後には貧血改善し、ダイニングで活動参加するほど回復。

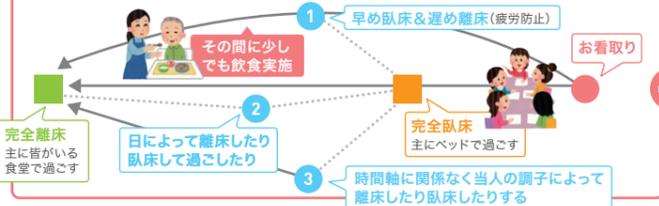
私がお報告します!



東京都杉並区
特別養護老人ホーム沓掛ホーム
介護主任 京極 亜貴



“調子は瞬間瞬間で変わる”に合わせた意志決定支援



ノンバーバル(非言語的コミュニケーション)
表情、仕草、目線、バイタル、肌の色、匂い、声の質

一日の平均水分摂取量: 1206cc

精神薬内服: 2017年 46% ▶ 2022年 12%

湿潤療法: 1か月以内の治癒率93%
2か月以内治癒率97%

皮下点滴: 必要な薬を適切な方法で投与

入院者数
2017年 39名
2022年 2名

優秀賞

over the service ~よろずやササハタ~

積極的な地域との関わりから生まれたアウトリーチの姿勢

笹幡では“進化するハイブリット型デイサービス”の3本柱の一つ、**奉優会独自のサービス“公益型混合介護”**をツールとして活用した地域活動を行ってきました。今年度の事例では、地域活動がもたらした成果を発表させていただきます。デイサービスの枠を超え、住み慣れた地域での暮らし、またご家族支援を含めたサービスのあらたな形をご案内します。



公益型混合介護とは、これまでは、家族や近隣住民などによる互助機能で補ってきたものを提供する独自のサービスです。社会貢献活動とちよいボラ支援により、安否確認やゴミ出しなど、従来のデイサービスではカバーしきれない困りごとへ柔軟に対応してきました。



「地域のよろず屋」として商店街を拠点に活動されている戸所様と積極的に関わりを持つことで、その活動を知ったケアマネジャーから公益型混合介護を目的とした利用依頼が多く舞い込むようになりました。

一般社団法人 TEN-SHIPアソシエーション
代表理事 社会福祉士 主任介護支援専門員 戸所 信貴さん

私がお報告します!



東京都渋谷区
笹幡高齢者在宅サービスセンター
責任者 立岡 千春

「A様、この事例解決できますか?」**難易度高 ▶ 対応力が求められると言われた支援事例を公益型混合介護での支援で改善**

実践例	改善前	改善後	【支援結果】
A様 80歳 要介護3 認知症 ・お一人暮らし ・ご家族の支援困難 ・衛生面で課題あり ・昔はおしゃれで社会的	来所リズムが不定 食事・服薬管理の困難 保清・整容・更衣困難(入浴拒否) 携帯の充電ができず 連絡手段が断たれる危機	短時間利用・ヘルパーとの自主来所 食事服薬管理と欠席時の食事支援 入浴支援・衣類預かりと洗濯管理 来所時充電・自宅訪問による安否確認	本人: 定期利用と在宅生活安定 家族: 精神的な安定安心 地域: 生活継続の為、定期カンファレンスによる課題抽出 お弁当お届け時に片付け(火事防止)による地域の不利益解消

待ちの姿勢厳禁! デイの既成概念を捨てよ! 地域に必要な場所となれ!

「通所されてきた方を支援する」姿勢ではなく「地域に出て積極的に関わり地域支援をする」というアウトリーチの姿勢が地域の関係性構築や通所のきっかけづくりに結びついています。



奉優会では活力ある人材育成のため、毎年「事例研究発表会」等の表彰を実施しています。今年度(2021年度)の発表会も、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの開催となりました。今号では239事例の中から表彰された上位5事例をご紹介します。

審査委員長賞

「できます!」「やります!!」「どうにかナリマス!!!」

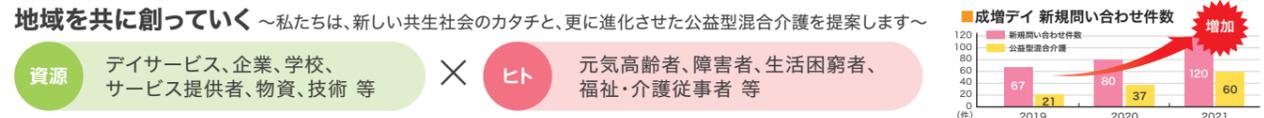
公益型混合介護*を地域と共に進めたその先にある形 ※奉優会独自のサービス

従来の介護保険サービスでは、介護保険サービスと保険外サービスは、「同時・一体的」に利用してはならないことが課題としてありました。そこで、国は混合介護の規制緩和に動き、サービスを「同時・一体的」に提供することを可能にしました。これらが実現されることで、得られる一番のメリットは、要介護者がいる各家族がより「高品質」且つ「個別具体的な介護サービス」を受けられることにあります。そこで成増デイは、地域の中核施設として、デイサービスでのサービス提供と混合介護を組み合わせ以下の3点を基本に事例を積み上げていきました。



実践例 S様 独居 デイ2/週 訪問2/週
・生活全般の支援(買い物、掃除)
・通院支援、薬の管理 週1回の自宅訪問
・家族に対する依存心が強く、全て家族が一任

利用日外で空いている送迎車活用での通院
・安心した毎月の定期通院
・ご家族に対する依存心の軽減
・ご家族の定期訪問が再開



理事長賞

沓掛ICFつなぐ専門職 ~よりよく生きるために~

ノーリフティングケア推進で離床率100%を実現!

沓掛ホームでは、水分摂取、口腔ケア、嚥下訓練、機能訓練による生活機能の維持、皮下点滴による水分補給等を積極的に実施し、穏やかな看取りを行ってきました。今年度はさらにICFの活動と参加につなげるため離床し、廃用性症候群やADL、認知機能の低下を防ぐ取り組みを行っています。ノーリフティングケア、口腔・嚥下機能、運動機能、姿勢、食事内容、栄養状態等に着目し、介護・看護・歯科・機能訓練・栄養が一体となって取り組むことでご入居者の状態改善につなげています。



廃用性症候群を防ぐために離床時間の増加に着目

離床時間の増加 福祉用具の活用
・スライディングシート
・スライディングボード
・Hug

姿勢保持 呼吸が楽
・活気がでる
・感染症予防
・食事が楽
・誤嚥防止
・食事量増加
・褥瘡防止

多職種連携による個別支援 令和3年度離床率100%
平均離床時間 1人当たり 9.5時間

私がお報告します!



東京都杉並区
特別養護老人ホーム沓掛ホーム
管理栄養士 千代原 智美